

専門実践教育訓練明示書

講座の名称	情報アーキテクチャコース				
実施方法	① 通学（昼間・ 夜間・土日 ） ② 通信 スクーリング （回数 回）				
指定講座番号(15桁)	1310014	—	1910011	—	1
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金対象講座の指定期間 平成18年4月1日 令和7年3月31日まで	過去一年の講座実績	入講者数(50人)	修了者数(47人)	
訓練期間	24ヶ月		総訓練時間	1800時間	
1. 教育訓練目標					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル		<input type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格（ ） <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程（ ） <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 専門職大学院（情報システム学修士） <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム（ ） <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格（ ） <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座（ ） <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科（ ） 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等特になし			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称		東京都立産業技術大学院大学			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等		本学に2年以上在籍し、本学が定める授業科目を40単位以上修得することにより、修了が認定されること			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況		全産業、特に金融機関、通信業界のシステム関連業務			
2. 教育訓練の内容					
教科（カリキュラム）		時間	使用教材名		
必修科目 12単位		540時間	情報システム学、情報セキュリティ		
選択必修科目 2単位		90時間	システムプログラミング、eビジネス		
選択科目 26単位		1170時間	IoT開発学、データインテリジェンス		
3. 受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）					
①受講するに当たって必要な実務経験等		大学卒業以上あるいは外国の学校教育で16年の課程を修了した者。（ただし、それ以外の者でも社会人経験を考慮した事前審査により受験することも可。）			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準		特になし			
③その他					

〔特記事項〕

--

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書						
4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況						
(1)資格取得状況						
① 前年度の修了者数		47	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数		38	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数		38	人	受験率(③/②)	100.0	%
④ ③のうち合格者数		38	人	合格率(④/③)	100.0	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1		1	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2		44	人			
				就職・在職率(⑤+⑥/②)	95.7	%
※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。 この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。						
※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。						
(2)受講修了者による講座の評価等						
① 回答者総数		20	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	17	人			
	2 非正社員、派遣社員	1	人			
	3 その他の就業(自営業等)	1	人			
	4 非就業	1	人	②B:非就業者計		
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	18	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	20人	
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	2	人			
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	0	人			
④ 受講後の就業形態	1 正社員	19	人	④A:就業者計	20人	
	2 非正社員、派遣社員	0	人			
	3 その他の就業(自営業等)	1	人			
	4 非就業者	0	人			④B:非就業者計
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	0	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)	0人	
	2 1割以上3割未満増加した	0	人			
	3 1割未満増加した	0	人			
	4 変わらない	0	人			
	5 1割未満減少した	0	人			
	6 1割以上3割未満減少した	0	人			
	7 3割以上減少した	0	人			
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	3	人	⑥の回答数合計	20人	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	2	人			
	3 社内外の評価が高まる	7	人			
	4 早期に転職・再就職できる	4	人			
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	1	人			
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	0	人			
	7 趣味・教養に役立つ	1	人			
	8 その他の効果	2	人			
	9 特に効果はない	0	人			
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	1	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	1人	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人			
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人			
	4 就職していない	0	人			
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	7	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	20人	
	2 おおむね満足	12	人			
	3 どちらとも言えない	1	人			
	4 やや不満	0	人			
	5 大いに不満	0	人			
(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価 等)						
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法						
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法		在学2年以上及び必修、選択必修、選択科目の科目群から定められた単位を40単位以上修得すること。				
(通信制講座の場合)スクーリングの実施場所、時期、期間・回数						

専門実践教育訓練明示書

6. 受講効果の把握方法					
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)		各クォータの試験・授業期間内に行う試験、試験・授業期間外に随時授業担当者が行う試験、レポートその他による考査、あるいはこれらのいくつかを併用し、GPAによる成績評価を行う。			
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法		単位の認定については各授業ごとに出席率、受講態度、積極性、プレゼンテーション、ディスカッション、レポート、試験等の評価を併用し認定を行っている。			
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)		在学2年以上、修得単位数40単位以上			
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法		各クォータ、授業期間内、授業期間外に随時行う試験、レポートその他による考査等を併用しGPAによる成績評価を行う。またSelf Assessmentの記載をベースに週報、成果物、活動実績を参照して総合評価する。			
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法					
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法		1年次には指導教員、2年次にはProject Based Learning担当教員が学生ごとの習熟度を把握し、個別の指導、助言を行う。			
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例：資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)		キャリア開発室を設置しており、多様な進路の開拓、学生個々の状況に対応したキャリア開発支援を行っている。			
8. その他の事項					
指定教育訓練実施者名 及び代表者名		東京都公立大学法人 代表者名：理事長 山本良一			
住所及び連絡先		東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリスビル26階 TEL 03-5990-5836			
施設名称及び施設長名		東京都立産業技術大学院大学 施設長：学長 橋本洋志			
住所及び連絡先		東京都品川区東大井1-10-40 TEL 03-3472-7834			
苦情受付者	氏名 河野明子 所属 管理部管理課 教務学生係	事務担当者	氏名 高辻萌花 所属 管理部管理課 教務学生係		
連絡先	TEL 03-3472-7834	連絡先	TEL 03-3472-7834		
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 2,365,200 円				
支払い方法	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		282,000 円		
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> 第1期 第2期 第3期 第4期 第5期 第6期 </div> <div style="text-align: right;"> 2,083,200 円 520,800 円 520,800 円 520,800 円 520,800 円 円 円 (うち、必須教材費 円) </div> </div>		
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		0円		
	① 任意の教材費(税込額)		0 円		
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)		0 円		
③ 施設維持費(税込額)	0 円				
④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0 円				
③ 両方可能	3. 総額 (1+2) (税込額)		2,365,200 円		